

# 祝賀の音色 高らかに

## 園児が鑿打ちやみこし

城西公民館

8日の正式指定を受け、松江市堂形町の城西公民館では国宝化を祝うイベントがあった。近くの市立城西

た直径1・5メートルの鑿2基を公民館の駐車場に設置。

幼保園（青木規子園長）の年長児66人が勇壮な鑿の音色を響かせたほか、市松江城国宝化推進室のト部吉博

1カ月前から練習してきた園児たちは「お祭りマンボ」のリズムに合わせて打ち鳴らし、みこしを担いで「わっしょい、わっしょい」と声を張り上げた。

画した。園児の似顔絵を飾り付け

講演したト部室長は、天守の完成年を特定する祈禱札の発見や、短い柱を何本も使用した構造上の特徴などについて市民70人に説明した。

立協会長（63）は「多くの市民が参加してくれた。松江城を大切に作る気持ちを継承したい」と誓いを新たにした。



鑿をたたいて国宝化を祝う園児たち—松江市堂形町、城西公民館